

戦略重点科学技術候補(案)

◆戦略重点科学技術候補の選択と集中の戦略理念

1.生命のプログラムの再現(統合的全体像の理解で生命の神秘に迫る)

- 第2期計画期間中は、ヒトゲノム解読等が終了し、各種遺伝子の機能解析、タンパク質解析、ゲノムネットワーク等のポストゲノム研究を推進。
- その結果、生物の成り立ち、機能の複雑さが明らかになっており、第3期計画の下では、個々の機能分子や機能集合体の物質的理解に留まらず、生命の統合的全体像の理解を深める研究を強化。
- この際、イノベーションの源泉となり、高い波及効果や我が国のライフサイエンス研究の国際的優位性の確保が期待できる技術の研究を推進。

2.研究成果を創薬や新規医療技術などに実用化するための橋渡し

- 第2期計画下における、疾患研究などのライフサイエンス研究の財産を活かしつつ、成果の実用化の橋渡し研究を強化し、創薬、新規医療技術などの成果を国民に還元。
- 予算の選択と集中とともに、研究体制、制度面の環境の整備を充実。
- 本領域の強化は、産業競争力強化や感染症対策のような人類共通の課題にも貢献。

3.革新的な食料・生物生産技術の実現

- 安全な食料を低コスト・安定的に供給する研究、生物機能を活用した有用物質生産・環境対応技術を強化。
- 本領域の強化は、国民の生活の質を確保し、競争力につながるとともに地球環境問題にも貢献。

4.世界最高水準の基盤の整備

- 国際的な優位性の確保が確実な生命情報の統合化データベースや生物遺伝資源等の整備、融合研究を強化。

戦略重点科学技術候補(案)

- 「生命プログラム再現科学技術」
- 「臨床研究・臨床への橋渡し研究」
- 「標的治療等の革新的がん医療技術」
- 「新興・再興感染症克服科学技術」
- 「国際競争力を向上させる安全な食料生産・供給科学技術」
- 「生物機能活用による物質生産・環境改善科学技術」
- 「ライフサイエンス世界最高水準基盤整備」